紅糖價錢五吊四百文至五吊
參市共上車三十餘輛
豆共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一連紙　一全　一圓
一フールスカツプ全　四圓
一中判洋紙全　二圓
一半紙野紙百枚　二十錢
一卷紙四十枚綴　十四錢

一椅子
一簞笥　三十圓以上三十五圓
一卓子掛　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一廚房用戶棚　六圓以上十二圓
一圓五十錢以上四圓五十錢
七圓五十錢以上十圓

一長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減　每張四百文

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
橫濱　神戸　東京　長崎　大阪
倫動　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺
電話　十番　支配人室
百八番　事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
苫島丸　二十一日午前　門司四日市行
營口丸　廿一日午前出帆　大沽、芝罘　門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店旗昌洋行（電話二六番）

瀛船出帆廣告
第二元山丸　二十一日門司行
日勝丸　二十五日門司行
萬城源丸　營口、登州府定期航路
松茂洋行船舶部　海岸東稅關西　電話（五二 五七）

新荷着　スペシヤルライト
朝日ビール、廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告
盛航丸　二十一日大連行
代理店　ブッシュ兄弟商會
東營口公園地横　遠來洋行（電話二十三番）

宅洋行
啓者敝行專賣棉紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子布手巾花巾洋傘火柴鐵表等類價値格外克已並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商察其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至
總司理人　田中頼之助謹白
開設老爺廟街同盛羅院內　電話　店一八三番　出張所五五番

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口豆餅豆油等土貨進口綿紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜本號口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡輪船一船裝卸貨物極爲便利而貯油餅豆米麥更爲合宜價値有輪船一艘名城多利能載重二萬擔如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人　葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專營裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致誤
本主人敬啓

仁裕號
保險運各幫火輪船生意彙賣各幫洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式褂子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許設運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街西義順棧內　東櫃（電話九十五番）　西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司
本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（撒剋）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆洽來福）清香撲鼻佳美適口而價値極廉，諸君欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請至本號面議特仰遇知
營口南永世街　同濟公司總局
馬蜂溝　同濟公司分局
營守屯　同濟公司分局
通江子　同濟公司分局

SP
糸平公司
本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綿布其他一切織物概行發賣並特約販賣（正日光）皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告
營口元神廟街元神廟南邊路西（電話一百九十二号）
朝日ビール特約大販賣

三井
電話　第六十六號　第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙、各商光顧請駕臨是荷
○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議
○發售日本白米
○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元，分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

三井洋行啓
啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨屯集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用啇有郭漁笙　朱斐章　王鹿芹　先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦　諸貴商所樂聞乎如蒙　賜顧請逕至大德亨內面議可也

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數吝惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉　僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事　僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克已　諸公賜顧請　駕臨大德亨內面議不誤
王鹿芹　朱斐章　郭漁笙　仝啓

洋行
電話　第六十六號　第九十一號

周
鐵道遼河裕和盛運輸局（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年并店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

銃砲火藥軍刀販賣業
本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等類物美價廉零整發售如蒙中外士商賜請至本行面議可也
官許商　武田洋行
營口元神廟街第十號

煉瓦及雜貨販賣
東海洋行
營口元神廟街十號
主任　針生安次郎
張貴良

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至營口永世街
第五號門牌便是

繩叺莚販賣廣告
精々强勉仕候間不拘多少御注文奉願候尚は當地にて御入用之御方は南永世街三十七號地岩村眞藏方へ御申越被下度候
大連市西通り二丁目四十三號地
東京　門倉出張所

丸重洋行
貨物運輸
啓者本行前在營口臺賣雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉値籌貨主之利便爲旨　如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞
電話　營口拾八番　牛家屯四拾六番

青堆子
菅野玻璃廠
玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價値公道主顧不誤官商幸給顧光特告白
本主人謹白

營口
華盛通轉運行
啓者本行專以代客運送各城貨物格外從廉倘蒙貴商光顧請至本行面議可也各站口皆有分設帳房格外周到不誤主顧現居西水晶宮東頭裕順興內特仰周知
本行總理事人　揚兆豊　敬啓

營口永世街
森醫院
院長醫學得業士　森　矯
齒科部
主任齒科醫士　兒島市郎
啓者本院雖開辦日淺刻已招聘醫員增加看病人購入醫療器械修補手術室並養病室萬端設備日形進境自四肢五臟之病以至打撲創傷等類皆能立刻醫治頃者更添設齒科特招聘該科專門醫兒島市郎君已自四月八號起開辦從事齒患者之治療按齒牙之於人體極有密切之關係其健否即不翅繫胃腸之健否缺落一齒則音聲爲之溢濁面貌爲之失形況疾患罹於齒牙始雖一小齲齒漸次侵蝕隣齒遂使全齒失其咀嚼之力疼痛不可言狀轉輾反側至爲難堪因之東國夙有齒科專門之醫研究多年備極蘊奧巧技入神齲齒凹窩則須菿去疼痛而後塡塞以金銀護模西門土等品若門齒缺落則以磁製之義齒欲久齒株無殘根者則以護模製之座床列植義齒其他或藏齒頭以金冠或欲入義齒不須床架巧技殆奪造化之妙若有齒株無要者則因藥液之力拔去毫無疼痛今世患齒牙者日多而治療之法日益進步幾不憂有齒患矣然中國醫界之風潮尙未幾達治齒之術措而不問殊爲憾事本院主引爲已憂測然感動特添設齒科招聘專門大家以從事齒患者之治療剋設備已全施治懇到其術極巧其價極廉以期普遍救治並發揮近世東瀛醫術之進步務望大方君子有齒患者幸早臨治療勿自貽誤此佈

志岐組木料棧
材料出售
啓者本棧開設鎮口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克已凡中外士商光顧請到本棧面議

告料　一半月以上一ケ月以內銀十五仙乃至十…
一長期連揭減價面議
Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office, Newchwang.
Telephone No. 29.
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

東京電報

●境界委員の會見

（六月十九日發電） 樺太境界查定委員大島大佐一行アレクサンドルスキイに到着十五日露國委員と第一回會見を爲し引續會議中なり

●綿ネル業の危機

關西地方の綿ネル業は相場下落の爲め危機に瀕す

●豐臣丸の遭難者

韓國仁川沖にて沈沒せる御用船豐臣丸の遭難者中今日迄の調査にては生存者二十一名生死不明者三十六名なり

●陸軍の設備決定

陸軍は機關砲隊一個を新設し且つ電信嚮導隊を擴張すること決定せり

奉天電報

●大官一行の消息

（二十日午後一時特別通信員發） 樺山大將西清浦兩顧問官等の一行は今朝鐵嶺に赴き今晩歸奉明日は滯在の筈

●福島次長の着奉

福島參謀次長山座政務局長の一行昨夜安東縣より來着せり既電に一行の十六日に到着せるやに報せるは傳聞の誤也

倫敦電報

●叛徒續々投降

（十八日發電） ヅールー叛徒の巨魁等は續々投降せり十九日には大部分の叛徒を擧げて歸順の見込なり今後は只だ有力なる巨魁二人を殘すのみ

●埃及人の拘引

タンター事件に付埃及人三十五名拘引せらる

●海軍大演習の結了

英國海軍大演習第一期は先土曜日滿足なる結果を得て終了せり其目的は改正動員令の實習及豫備水兵並に沿岸防禦の效力を試驗するにありき

●ワルソーの革命徒

ワルソーに於て先土曜日兵士五名及警官一名傷けられ二名殺害せられたり日曜日に於ては更に警察士官夫婦殺害せられ兵士二名射殺さる加害者の逮捕せられたるもの皆無なり（十九日發電）

●英國戰鬪船の衝突

英國戰艦レゾリユーション號（一四、一五〇噸）は大演習中戰艦ラミレス號（一四、一五〇噸）と衝突して推進機を破損し修繕の爲めチャタム船渠に曳行かる

●教育案討議終結

英國議會に於ける教育法案討議終結を宣告する議決案に對するバルフオーア氏の修正案は百七十一に對する三百四十一にて否決せらる

●英國議會の再開

カメルバナマン氏は述て曰く議會は八九兩月間休會し秋期に及て再開すべしと

●支那勞働者問題

自由党新聞紙の一部は南阿產金地に支那勞働者の輸入を嚴禁し並に現住者を退去せしむべきを主張せるに對しデーリーニユースは評論して曰く若し南亞に於て政府の代表者が右の如き主義を實行せんとせば只だ笑柄たるに終らんのみと

雜報

●滿洲鐵道の收支

南滿洲鐵道の收支相償ふべきや否やに就き種々の議論あれと當局者の見込にては長春、大連間の幹線は內地の各鐵道に劣らさる利益を生すべく安東縣、奉天間の線路は今日の所十分の收入なかるべきも之を償ふに撫順炭礦の利益あり尙南滿洲鐵道は特殊の組織にて特別の任務を有すれは滿洲利源の開發と共に其利益は益々增大すべく加之現在の豫算は滿洲より輸出する貨物の運賃のみを計上したるものなれと將來滿洲に於ける日本雜貨の需用增加し同時に露國の西伯利亞線と連絡輸送成立する曉には我か國より海上を經て歐洲大陸に運搬されつゝある貨物の內速達を要する者及ひ印度洋熱度の爲め性質變する物品の如きも亦本線に吸收し得べけれは隨つて同鐵道の收益も增加すべき見込なりと

●滿洲鐵道の價格

南滿洲鐵道の資本は幾何なるや未定なるか東清鐵道の價格は一哩十萬圓と見るを適當とすべし尤も露人の敷設者は一哩二十萬圓を要したるも半分は中間にて汚吏の懷中を肥したるものなる故標準とする能はす一哩十萬圓と見るもレール改築、機關車、客車、各貨車の設備に二千萬圓も要すべく之を加算すれは一哩十四萬圓となれは餘り安き鐵道にはあるさるべし然れは一哩十萬圓として約五千萬圓を至當の價格とすべく而して之に炭礦及ひ安奉鐵道を併せて二千五百萬圓とし之を政府の出資額として全資本の半分と見れは世間に傳ふる所の一億五千万位は適當の推算なるべきかとは某鐵道家の推算なりといふ

●陸軍擴張計畫

陸軍の擴張は戰時直に百萬の軍隊を召集し得べき程度にて計畫されつゝあるが右擴張の必要は單に日露戰爭より出でたる結果のみならず日英軍事協約にも起因する所ありといふ

●敍爵及昇爵者

日露戰役に關する論功行賞中敍爵者は未だ正式の調査に上らさるも其範圍は陸海軍將軍、同相當官、一等官以上の文官及び實業家等にして新に敍爵せらるべきもの百五十名內外にして昇爵の御沙汰あるべきは三十名以上の見込なりと

●滿鐵の守備兵

東清鐵道の六月一日受領の分即ち昌圖、公主嶺間の內昌圖より四平街迄は既に我守備兵到着し受領の順序により日露守備兵の交代を行ひ既に公主嶺に至る受領全部に我守備兵の配置をなしたりといふ

●外客優遇問題協議

去る八日東京に於て觀光外客の優遇方法に關し協議する所ありしか其結果差當り最も不自由を感するはホテルの不足なれは豫ねて實業者間の宿題となり居れる現在の農商務省建物を政府に交涉して讓受け若しくは借受けて之をホテルに改造せんとの議に付兎も角も政府の意嚮を確むると爲り交涉委員を選擧したりといふ

●鐵道の貨物割引

滿洲鐵道に由る貨物の運賃は當業者の希望を容れ或程度迄割引法を實行する事になりしため出貨一時よりは增加の趨勢を示し現に本邦よりの貨物は鐵嶺まで直通扱ひを大阪商船にて開始し又同沿線より大豆、豆粕の本邦へ向け輸送さるゝものも漸次增加の趨勢なりといふ

●滿洲の軍票殘存高

戰爭に際し我政府の發行せる軍用手票は其額一億四千万圓の巨額に達し內戰爭中滿洲一帶に流通したる額は九千万圓餘なりしか其後同手票は漸次回收せられ現今の流通高は約二千万圓內外なりと云ふ

●死者の叙勳（歐洲の新例）

列國には死者に敍勳する例殆んと無く之あるは獨り日本のみなるか此度大連市の建設者にして旅順の役に戰死したるサーハロフ氏の母は日本に其例あるを名として露國政府に敍勳の請願を爲したるに同國にて詮議の末、故サーハロフをサント、ゲオルギイ勳章に敍せり、此の如き死者の敍勳は露國は固より歐洲に於て此サーハロフを以て嚆矢とするものにて此風は他日獨佛にも行はるゝに至るならんと云ふ

●封鎖潜りの獨船

紐育新聞に掲けたる倫敦電報に據れば獨逸汽船セーラバーヤ號は日露戰爭の初期日本の爲に石炭を輸送せしか後露國に雇はれて兵器彈藥を積み日本の哨船を逃れ浦鹽斯德に入らんとせしも能はす因て北方に航走せしは去年十月の事にて爾後六個月其の行衛を失せしか本年四月末黑龍江口より溯ると二十五哩なるニコライフスク港の附近に氷中に鎖され居たるを發見したり而して乘組員は皆な凍死を遂けゐたるよし

●奈古浦拿捕の賞

露國海軍々令部は豫て特別委員會を設けて一昨年二月十一日の奈古浦丸拿捕に與かりたる海軍々人の勳功調査中なりしか此度愈々該調査結了して賞與三万六千圓を與ふることに確定して之か分配額を公告し不服の者は來十一月末までに其筋に申出つべしと布告せりといふ

●滿洲開放と外國

我政府は去る四月下旬を以て滿洲開放の事を半官的に發表せしか當時外國の壓迫のの爲に遷延決せさりし我政府も終に開放の議を決するに至れるなりとの說あり我當局者は此等の傳說を打消して決して此の如き事なきを明言したるも近着の英字新聞を見るに昨年十二月支那協會より在倫敦の委員に向け左の如き電報を發したる記事あり

日本の滿洲に於ける要求は門戶開放政策を無視するものにして在牛莊の英人は大に之を顧慮し居れり

又日本官憲は山崗貿易の時機に在るに拘はらず英國汽船の大東港に入るを禁止せり目下の形勢は大に注意を要す

倫敦の支那協會委員は直に此事に關し英國外務省に計る所ありたるに外務省は之に答へて左の如く云へりと

本件は北京駐劄公使に傳達して同地駐劄の日本公使と會合せしむべく又た大東灣に於ける日本官憲の處置に就ては牛莊在勤の領事に命し充分の取調を爲さしむべし

其後同協會は更に

戰爭終局後、日本人は軍隊輸送の名の下に外國人の東清鐵道使用を禁止し今に至るも猶ほ舊態を改めす舊態を改めさるは猶恕すべきも日本官憲は日本商人には該鐵道の使用を許し居れり

との電報を倫敦に送りし由なるか猶近着の外字新聞に依れは日本政府は明年十二月右東清鐵道使用禁止の件に關し外國商人の苦情の爲め多少の讓步を爲すべしとて

一、東清鐵道運輸願は日本語を以て認め東京に差出すべき事

二、或種類の貨物に限り運輸を許す事

三、東清鐵道に由る運輸は總て日本商人若くは其代理人の手を經て取扱はるべき事

の三項を規定せし由にて右の外字新聞は牛莊に於て積込むべき貨物の願書を東京に差出すなど殆んと實際行はれ難き手續のみなれは名は日本政府の讓步といふも實際には何等の効果なしと論し居れり此等の記事を以て見るも外國の壓迫云々が全く痕跡なき事にあらさるを知るべしと傳ふる者あり

●樺山大將一行の到奉

去る十八日朝營口を出發せられたる樺山大將清浦兩顧問官の一行及び水町理財局長は遼陽に下車して二時間餘り城內外を視察し仝午后六時四十分奉天驛に到着せられたり歡迎者は武官に藤本少將以下駐在各將校文官に萩原總領事民間に井上正金等あり而して大將一行は新築の金城ホテルに投宿し水町理財局長は正金銀行支店に入りたるが此日砂塵千丈內地新來の珍客に對する奉天名物の御馳走にて一行も稍や弱はられたるやに見受けたり十九日朝一行は北陵に參拜し午後市中を視察し翌二十日撫順に至り炭礦を視仝日歸奉明後二十一日鐵嶺昌圖方面に至り歸路は奉天より安東縣に出でらるゝ豫定なりと云ふ（奉天通信の一節）

●瀨川會長慰勞會

久しく日本人會の爲めに盡瘁し此程辭任せる前會長瀨川領事の爲め評議員一同發起人と爲り慰勞會を本日午後六時より第三樓に於て開催すといふ

●電報受取所の設置

西營口は當電信局を距ると遠く不便尠からさるにより西大廟胡同今店後院に電報受取所を設置し來る二十七日より其事務を取扱ふべしといふ

●東西南北

敗餘の露國日本海に新航路を開き浦港敦賀間に壹古號を首航せしむ露國の機敏驚くの外無いが併し浦敦航路は戰役前よりの露國の計畫で戰勝も戰敗も拘っすヤツつけべく試みられたる既定の目論見であつた露國に稱すべきは機敏では非ずして寧ろ其不變の方針である▲外客優待會は此頃委員會を開いて外客優待の一方法として先つ完全の旅館を備ふるべく農商務省の現在建物の貸渡を出願したさうな外國人の旅館が出來て農商務省借屋住居といふ寸法も烏渡面白いてないか▲今度總會を開いた赤十字社報告に據ると社員が百十五萬餘人年醵金一百七十餘萬圓である其戰役中貢献せる力の如何に偉大なりしかは此數字のみによつても證せらるのである▲近時漸く太平に狃れ佛國海軍將校間に阿片を喫煙する弊風が非常に流行するげな併し勝つて兜の緒を緩めると遂に人の事を笑へぬと爲る▲露國が外國に負ふ所の債務は總計六十五億留で其利子許りでも年に二億九千万留である一億五千万圓の南滿洲鐵道會社か年に二つ宛出來て行く勘定である借金も夫れ丈け出來たら兎に角豪い▲黑木大將微行京都に至る舍人謝して曰くお生憎部屋が塞がりましたと當年滿洲の關門鴨綠江を指顧の間に乘り取つたる鬼將軍黑木大將も旅籠屋の關門は破ふるとか出來無かつたと見える▲澳國て妻君外出の時留守居をして小供の世話をする亭主が互に寄合つて一の倶樂部を組織したさうな幾らヘイカラても日本人にさういふ會員になる者は一人も無いてあらう

●銷夏錄

小樹生

雪の卷（二）

吾軍牛拉山の冬營地から約半里許北方に、廣漠たる平原を拔いて一脈の丘陵上に建てられた一の喇嘛廟がある、鐘樓高く聳え廻廊緩く續て較々輪奐の美見るに足るのである。

とは云へ我軍占領以前には露軍の砲兵陣地であつた爲に、本堂は榴彈に碎かれ庫裏は兵燹に燒けて大小幾多の佛軀は哀れ果敢なくも粉韲微塵と化し、砲彈の打殼乃至小銃の藥莢は庭內處狹き迄に狼藉して、人間の肉片には人間の碧血と相交りて徒らに野良狗の腹を肥やしてゐる。

一夜天六花を降らし曉起窓を押せば雪積むこと方に三寸、好機逸す可らずと思つたので、直ちに蹴起して獵裝を整へつゝ彼の喇嘛廟のある丘陵へ足を向けた。それは兼て兎の巢窟をば其處等邊りに見付けて置いたからである。

夜が全く明け離れると、滿目の江山總てこれ銀色皚々として未だ一點の塵にだに染まず、余は只一人畫中の添景となつて、獲物もがなと此處彼處・獵り步く。

幾回獵つて見ても狡兎の足跡だに見出さぬので少からぬ失望したのであつた、繞り繞つてお寺の方に近づくとフト脚下に小さい人間の足跡を見付けた、ツイ好奇心に驅られてそれを辿ると山門の入口で果して一人の小供に邂逅した、渠は余が姿を見るや否や一目散に驅けて丘の斜面を横さまに逃け出した、多分ロスクの堀つた塹壕の裡にでも匿れる積であらう…………。

「コラ待てツ」と無意識に叫んだ、渠は余が大喝に一層狼狽して逃げも得せず、突如此方に向直つてヘタバツて仕舞て 大人叩頭々々」と恰も米搗きバツタの姿勢で白雪の上に額づくのである。

余はお可笑もあり、又氣の毒にも感じたのでニコ〳〵と他意なきを示し乍ら近いて熟視すると十歲許りの少年で垢だらけの顏は著しく窶れてゐて何だか薄汚い包物を提げてゐるのを切りに氣にしてゐる風であつた。

『それは何物？』と柔しく問ふたのであつたが渠の胸にはギツクリとこたへたらしく、再び雪の上にヘタバツて叩頭を始めた、此奴てつきり藥莢泥棒と目星をつけたので拒むのを無理やりに包を解かしめた、意外には目指す品物は一ツもない只ところ〳〵血に染まつたロシャ更紗の中から一塊の黑パンが出た切りである。

『これを如何するの？汚穢ではないか』と重ねて問を發した渠は聊意を安じたものか『竈が壞われて高粱が炊けないから持つて歸つて祖父さんと一緖に喰るの』、祖父さんは何處に居るのか…………ツイこの村端れの堀立て小屋に居るのです、元私の家は三家子だけれど日本兵の宿舍になつてゐるので…………渠は年に似合はぬ判然した應對振りであつた、親父は內に居るのか『イーエ父は石灰窰子に稼ぎに往つてる』母親は？渠は母親は在るかの間に接して暫らく口の內で媽々〳〵と囁やいてゐたが急に大聲を擧げて泣き伏した、どうしたのかと幾度が宥め賺して問ふて見た『私の媽々は去年露兵に强姦れて吊死たよ』エーツ餘り意外の答に余は呆然として覺えず銃を取落した途端に、ガア〳〵と孤雁數聲悲げに叫んで薄墨色の雪間を渡つたのであつた。ヨシ〳〵今に日本兵がお汝のお母さんの仇をトツてやるからお汝は氣嫌を直して早く祖父さんの處に歸れ、と一片の軍票に用意の重燒パンを呉れて立ち去らしめた、哀れなる少年は幾度か多謝々々を繰返しつゝヒタ走りに我小屋を指して去つた、その後影を見送つた余が眼瞼は氷に閉られてゐた。

其后二三回余は可憐なる小供を見るべく、例の喇嘛寺畔に雪を踏んだのであつたが一向見當らぬ、聞けば程なく親父に引取られて溫き情に睡りつゝあるといふことである。

●喋言囀語（二）

半平

▲途上相逢ふて曰く「何か儲かる事はありませんかと」重ねて曰く「グズ〳〵して居ると人間のヒボシがデキますよ」因つて句あり「夏瘦の戀なら無くてさいんかな」但し之れは滿洲の東北と知るべし

▲聞く東京の帝國ホテルには歐米の金貨嚢中垂々たり、曰く貸すなら百萬圓以上と、金欲しやの滿洲紳士チト借りに行つてはいかに、呵々

▲人あり日曜に敎會行を勸む一人の曰く、レデーがドレ程行つてるかと、

▲人はパンのみにて生くるものに非ずとは耳蛸的基督の言、かゝるが故に酒と女とヘナを要するなりとなん在滿邦人の言、强辯も爰に至つて論外

汽車時刻

關內外鐵道

上り 營口發前八、二〇 七、〇〇 溝幇子同九、四五 九、〇〇 錦州同后一三、四五 二、〇〇 山海關着六、〇〇 八、一〇 山海關發前八、一五 五、〇〇 北京發前 八、〇〇 ……

下り 山海關發前 七、〇五 錦州同后一三、五五 溝幇子同 二、四五 營口着 四、五五 ……

東清鐵道

上り 新民屯發前六、〇〇 溝幇子着同九、五七 營口發前六、三〇 后九、三五 大石橋着同七、三〇 一〇、三〇 大石橋發前八、〇五 后二、〇五 ……

下り 新民屯着 ……

（淡谷木材店）

本號開設營口東青堆子發賣栢木方料栢木元料紅松料木油松方料元木大小檁子廿四尺栢木大杆木板此木材出售價廉採買客人不知譁此廣告

東青堆子橋南

西海洋服店

歐米各國最新流行形

電話百二十七號

諸鐵工製作

營山船舶機械鐵工 鐵便鐵道附屬鐵工 土木建築用鐵材料

營口ブツシ綏定商會門街東

川喜鐵工所

天氣豫報

營口地方天氣豫報

自十八日午後六時至十九日午後六時

南又は西風晴れ

昨日の氣溫 ……八十七度四……

昨年ヨリ……

雜報

●姐さん方へ暑中御見舞　朴捻老

▲鄕樓米八さんへ　大冢罐詰一個　但しビール箱大の罐只今武力屋へ注文中出來上り次第御送り申上候間お二人りにて可然御吟味アレ

▲玉酒家スヱノさんへ　清人專賣券一千枚但し一回分八十錢日々五六枚宛御使用なさるべく

▲喜樂亭奴さんへ　郵便切手五圓券五枚と神崎洋行雜貨券一枚可然御使用被下度候

▲初音愛子さんへ　白粉一袋といもりの黑燒一ダース厚化粧の上例の人に振り掛けて御覽遊せ効驗疑なし

▲三日月樓福八さん　代書業取締規則書一部アノ方と共に一ヶ月八九回宛御熟讀被下度候

▲金波樓千鳥さんへ　劍一振に筆一本劍は牛家屯の○○殿の方へ筆は永世街の前垂掛のお方へ差上下され度候

▲公樂園やんちやさんへ　子宮綿一箱精々誤注意の上御使用被下度候

▲東邦亭福八さんへ　會計簿一冊と周易判斷書一冊お二人方お揃ひの上計算の間違なき樣誤注意アレ周易判斷書は末永く娛樂書と思召し被下度候

▲千鳥の時子さんへ　法律全書一冊餘り誤研究過ぎては却つて江藤新平の二の舞を來たすやも計り難く誤注意までに

▲菊の家まるさんへ　八百物通帳一冊但市場のちやんの店に限り御使用アレ一ヶ月約卅五六圓以內の買物に願上候

●障子の破れより坊主頭　壁に耳あり障子に目鼻といふ事は聞く所なれどこれは又古來未曾有前代未聞の不埓千萬の話一昨日午後九時過頃なりき記者所用ありて永世街永世湯裏手を通りかゝりし處同湯下宿屋の障子の破れ目より人並優れし長大の坊主頭を露出し而かも悠然として街路にジヤア〳〵小便を爲し居れり坊主頭にて其何人なるや知らざるも實に不埓千萬極まる呆れ果てたる奴なり

家庭小話

身體の掃除

齒を磨くに毛楊子を堅に使ふべくされば三度摩擦する所は一度にて事足るべし嗽水には硼酸を混じたるもの宜しく之を平生に用ふるときは齲齒咽喉加答兒等に罹ること無く創の洗ひ藥としても重寶なれば家庭藥として常に備へ置く可く又洟をかむに餘り力を入れて強くかむはよろしからず爲めに鼓膜に響き腦を害するの恐あればなり、風邪の砌など鼻をかむに最も注意を必要とす其他全身の清潔を保つことは今更いふ迄もなきことながら之より暑氣に向へば發汗して塵風にも吹かるゝより別して冷水摩擦、洗濯等を怠らず以て身軀の清潔を保つべきなり

投書かご

▲大阪某遊廓に武藤チヱと申す藝者あり營口の初音に武藤チヱと云ふ女が居る之れには何か原因がありそうな（物知生）▲僕は昨日永世街司法部の前を通行して居つたが向ひの呉服店に酌婦らしき女客が裾を○○の御近所迄捲くり上げて平氣の平左で反物を見て居つた好い同胞の面汚しだ（實見生）▲實見小僧君よ君は十時過の公園が非常に面白いと云ふが本統の面白い時は午前一時二時頃だ怪しい丸髷の年増がウロ〳〵して御座るぞ（中老）▲清人の糞籠を擔て朝々大便を取りに歩くは實以て閉口頓首の至りだ衛生〳〵と八ヶ間敷云ふ今日かゝる不潔極まる籠を廢して何とか他によき方便御座らぬか當筋にお願申上ます（衛生家）▲營口に表面ばかり紳士の面を被つて裏面に廻れば醜体極まる僞紳士がある注意せんと素破抜ますよ（元神小僧）▲万梅のぽん子鬼樣日報の投書籠でエロウ氣焔を吐いて居つたが已れは李俊の老爺が附いて居るじやないか三船の投票も皆なチヤン李を胡魔化したお陰でないか此の盗と猫め（色仇）

●塵挨錄　天民居士

世渡りの六ケ敷さは綱渡りの六ケ敷さよりも一層である綱を渡るには綱に心を用ゐるの要なく只自已の中心を失はぬ樣にすればそれで足りるが世の中を渡るには先つ世の中の有樣に意を用ゐ能ぐ之を吞み込んで後ち自己の中心を取らねばならぬ加もその世の事柄は十人十色面の異なる如く種々樣々であるが故に自已の中心も相手により臨機應變千變萬化せねば上手に渡ることが出來ぬ己の欲せざるものは人に與へざるも他の欲するところは勉めて之を與ねばならぬ嬉しいからとて他の泣く前に笑ひ悲しいからとて他の喜ぶ際に傷むが如きは到底世渡りの下手たるを免れない吾れに主義あり安ぞ他に關せんやでは當世に用ゐられぬ事だと聞えて居る、ケレ共之を極端に行ふ時は阿諛となり卑劣となりて遂に過ぎたるは及ばざるの愚を見る樣なる唯夫れ孟子の所謂中庸、俗にいふ程よい度合を見るのが肝腎である（未完）

日報俳壇

馬捨て若葉の茶屋の午睡哉　紅村
芭蕉一株竹數竿夏の風情哉　花外
天井の晝は探幽や蟬の聲　牛骨
涼しさに社のはとりめぐりけり　千曲
蓮の香や暮て小雨の一トしきり　甫人
主落ちし馬の勝ちけり競へ馬　叱太郎
もゆるとは螢の上の浮名哉　野梅

▲左規によりて俳句を募る
夏季雜題　期日に關せす掲載得るに從ふ
課題　夏の月、單衣、蠅、六月末日まで
に本社編輯局俳壇宛に投寄を乞ふ
▲派の新舊問ふところにあらす清新なるをよしとす
▲選句者は未足齋野梅氏なり

廣告

告示

拍賣於左開之日及在地處施行若有人買者知悉
左開條規爲此特示
一拍賣之日　定明治三十九年六月廿六日午前十點鍾　光緒三十二年五月初四日午前九點鍾
一拍賣之物件　掉鍾一個外雜物二百三十個
一拍賣之地　營口正平區下合豊店王鳳來住宅
一拍賣物件之賣價不能少與官定價值　非現錢到處不能交付物件
一若對王鳳來有該賬及欠欵者施行拍賣日以內告知衙門可也
右諭知
明治三十九年六月十九日
營口軍政署

●松岡病院
內科 外科 眼科 婦人科 診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血清療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士　松岡玄雄（電話一五一番）

Foreign Goods.
各國高等雜貨　御小賣
三友洋行雜貨部
清國營口永世街甲貳拾五号　電話一五四
帽子手袋　エリ襟飾　シヤツ沓下　靴　洋服付屬品一式
香水石鹸　婦人小間物　化粧用品　旅行用品　椅子寢台
Sanyu-yoko.

●第四回營口圍碁大會
會場　二本町祇園閣
開日　六月二十三日午後正一時より
會費　銀三圓
景品　一等より五等迄
右出會の御方は發起人迄御申込を乞ふ
發起人　長崎武英　加藤定吉　久間九郞　小倉定次郞　高坂景顯

產婆　營口永世街甲第百○三号　第二市場停車場西側　川口榮子

靴製造幷に修理
右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也
營口元神廟街郵便局官舍向ひ
桑田靴店

一潑船貨物運搬業
一浮船及瀨取請負業
右營業精々勉強致し迅速御用辨可仕候
營口南永世街第一市場西へ入る
遼河運輸　同濟公司

病室增築輕便入院
是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす
○全身魔醉○局處魔醉○嶄新器械○無痛手術○
梅毒○婦人科○外科○胃腸病　專門
日本醫院

古料理
滿月　平野町（電一六二）
滿月支店　平野町入口
店主　青木勝惠

弊館祝二週年に付て美人投票相催候處幸に大方諸君の贊成を得御陰を以て昨日無事終局仕り規定に依り最高點より以下九人迄を當撰者とし尚百點以上の御方へは別に弊館撮影券進呈仕候
一等　第三ゆき　二等　万梅ぽん子
三等　菊水太郎　四等　金城館金榮
五等　滿月きく　六等　東京館次郎
七等　日本館手遊　八等　万直し年子
九等　日營きく　十等　第一よし子
追て紀念の爲め當撰者の美人画はかき發行仕度候間來る廿三日午後三時迄に撮影準備を以て弊館へ御來車を願度候
六月二十日　營口元神廟街　三船寫眞館

本月二十日より領事館構內にて代書所を開きます
主任　末松卓郎

醇良日本酒　金露
サツポロビール
大販賣　和洋雜貨　洋酒化粧品　酒類　食料品
孔雀印平野水
千賀洋行　奉天鐘樓南大路西
千賀洋行支店　奉天小西關大街路北

○卸賣は內地並み
○小賣御並み
宇治新茶着荷發賣
銘茶　松の綠　花橘　川柳
玉露（玉露製）　正喜撰（煎茶製）
郵便にて御注文下さるれは鐵道便のある處へは多少に不拘荷爲替の便法により迅速御屆可申候
大連伊勢町四二
海陸運輸公司內　宇治小林出張
井上賣茶部

白米、（印）醬油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約
東京タクアン　其外和洋酒類
營口永世街第廿八號
大原洋行
（營口無比廉價販賣す）

新荷着
旅行用トランク及手提鞄　極上等長靴白靴
コツピー台　臺秤及金庫類
帽子　鳥打帽子及ボンネツト　中折
化粧雜貨　化粧品及ブラシ類
關東公司雜貨部（電話五號）

雇入
熟練ノ技師及助手各一名入用希望者ハ至急來談アレ
營口元神廟街　三船寫眞館

御料理旅館　三河樓支店
弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本風の二楷造家屋新築し樓上等も暑に應する設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上

和洋會席　御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候
營口永世街二本町
日本館（電話百三十）
各位樣

廣告
一各國洋服地一切大勉強可仕候間何卒御來見の上御買求之程を願ふ
一並に各國洋服仕立料も大安價に仕て差上可候間何卒御注文を願ふ
元神廟街日營貿易筋向ヒ
東營口元神廟街
寶泰祥
福興洋服所

自煉瓦 造瓦
並に各種石材販賣
營口両堆子
加州組
（電話八十六番）

營口西北街
裕和盛
電話八一番
東清鐵道
遼河
貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール、日本酒澤の鶴、洋酒、食料品、和洋鑵詰、食器、内外煙草、葉巻、エジプト、文具、化粧品、金物類、肥前白米、醬油、酢、木炭、其外色々
卸並に小賣
彩票
每月 大連 南洋 湖北 發賣
本店 長崎
支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹、疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材
營口永世街八十號
喜久洋行
（電話百五十二番）

商
夏もの大賣出し
永世街第貳市場前
木村呉服店
（電話八八）
六月十五日より
六月二十日まで
出張 鐵嶺 鐵嶺倶樂部内

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等
一日本石炭數種
營口元神廟前
飯塚工程局材料部
（電話百三十五番）

石材
石灰
大販賣
（營口西北街）
英治洋行
（電話三二）

昌
營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖株式會社營口分局
總局 盛京省昌圖府東街
既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨滙兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關內外鐵道又海外轉運（與大清通運公司連接）東清鐵道沿路樞要各站分局現方在設備中倘蒙遠近貨客愛顧托貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議爲荷特謹白倘路途偶有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包補此

資本金參拾萬圓
日清合股

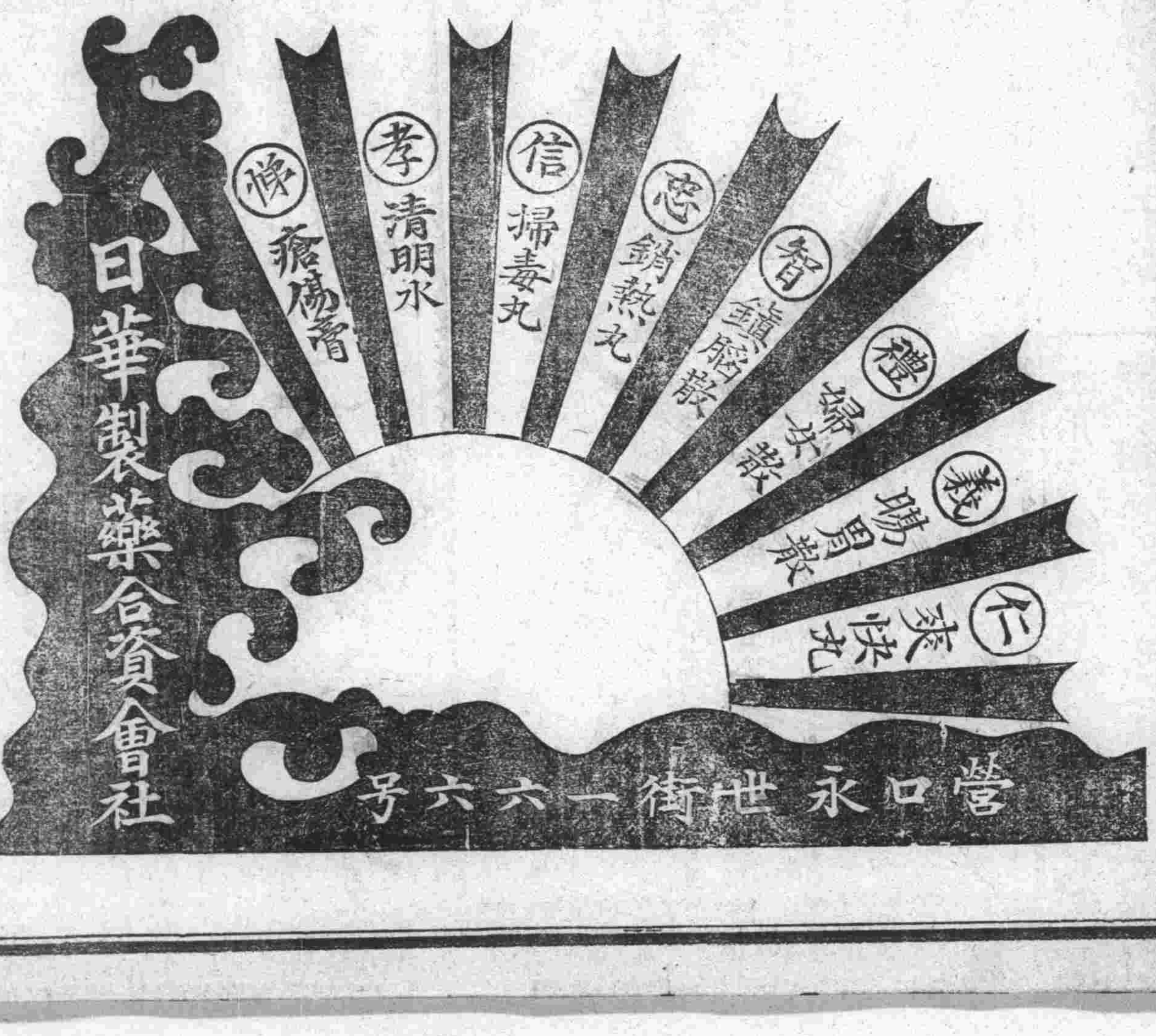
盛進商行
革麻坐蒲團
旅用衣裝鞄
婦人用洋傘
洋服附属品
流行靴各種
椅子類各種
卓子簿記臺
油多加織類
薄利多賣は弊行不動の主意
幸御愛顧の榮を給はらむ事を伏て奉希上候

上海
中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙印書籍各式紙并票包棉紗料草板紙張什本機器連史紙各彩印字運墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

氷
田庄臺大盛貯氷公司
賢政署衛生課御指定
飲料適
發賣元
營口元神廟街成功號三階（電話一三四）
田庄臺大盛貯氷公司販賣部
特約店
大連信濃町市場前 大原商店
營口二本町 丸山氷室
營口永世街 衛生軒
營口永世街平野町角 山田氷室
營口第二市場前 松木氷室

謹告
弊店儀今度彌生跡を引受け新來の年若美形を揃へ料理は勿論御待遇家事萬端一大刷新を加へ御手輕御清遊に適する樣店中車輪の大勉强何卒倍舊御愛顧の程伏して
御客樣
店一同
奉願上候
營口永世街第四十一號
電話（彌生）
酔月

救治萬病
濟生八方
神効無比



○板材木 ○金物類 ○疊建具 ○椅子テーブル ○洋燈類 ○鰹節雜魚 ○酢醬油 ○其他雜貨色々
○蚊張 ○金庫 ○花莚 ○ペンキ ○文具 ○紙類 ○罐詰
新荷着大安賣
石
營口西北街
石光洋行
遼陽西門外
石光洋行支店

宮門抄

二十五日
戶部　宗人府　正白旗値日無引　見　候補五品京堂文韞到京請
安　戶部奏請更換左右翼監督　關防衙門奏初五日
大高殿拜表恭王行禮
召見軍機
皇上明日辦事後卯正由頤和園　大高殿拈香畢還海跪接
皇太后還海駐蹕

上諭恭錄

二十五日奉
旨左翼監督着溥倬去右翼監督着伊立布去欽此

外論

節錄上海時報論辦鐵路私舉總辦事

（前畧）査公司律。都凡三百餘條。其精神全在於保護股東之權利。誠以股東爲公司主體。公司之一利一害。皆惟股東直接受其影響。而外此者。無所預焉。故凡公司。必得股東之同意。而後成立。此各國之成例。而我欽定商律。所不能獨異者也。夫所謂得股東之同意者。所由之道。只有兩途。一曰明認。一曰默許。明認者。全體一致。聲明其宜如何如何者也。默許者。或由一部分之股東。暫定爲如何如何。而既經合法之宣布。果無人出而反對。且服從焉。則將其事作准者也。苟非出於此兩者。則無論如何。不得誣稱已得股東之同意。而公司即萬無成立之理。此理最淺而易見。不特稍解律意者。能知之。即尋常人。亦當無不知之。然則吾但執此義。而已可斷言曰。廣東鐵路總公司。現尙在於創辦時期。而未入於成立時期。創辦時期。一切事宜。由創辦人爲政可也。而至成立時期。則凡事不可不仰承於衆股東。即創辦人至此。亦名實俱去。不得不退而就股東之列。故公司律。第十八九二十三條所定。即由創辦時期。而入於成立時期之過渡辦法也。苟不合此辦法。而任創辦人。私自有非分之利益、是命不法之行爲。不法之行爲。地方官不得徇私認可。商部亦不得枉法批准。而股東即萬萬不可以承認。蓋亦爲無效耳。然則此次廣東總局。未聞招集各股東會議也。而何以忽有舉定總副坐辦之事。是爲合法乎。不法乎。吾恐各股東雖至愚。亦必無不能下一公正之斷語也。此次所謂善堂行商。代表人之私舉總副辦。其事實又最彰明較著。天下有目者所共見。有耳者所共聞也。曰舉權理。忽而擅改爲總副坐辦。曰初十日公舉。忽而改爲初一日。至于初四日之私相授受。更爲無理取鬧。是謂（不將律定布告各東布告或布告不實）犯公司律第一百二十六條。第二款矣。登報布告不及十五日。外埠股東。並不通知。犯公司律第四十五條矣。非善堂行商代表人。無論何等股東。不許投票。犯公司律第一百條矣。至於外間所言。當日投票之數。實踰在場者之數。此實爲非常可怪。不可思議之現象。今以未得確據。姑勿置論。而即上述諸端。其以種種不法之行爲。意欲遏衆股東。不得不爲公司律第十條之解散者。已百詞莫辯矣。是卽科以破壞國家路政之罪。其又何辭。而豈知事乃有大謬不然者。然試問頒布商律。以保護股東之權利。孰有大於選任辦事人。以謀公司之利益者。今舉總副坐辦。爲公司劈頭第一次。最重且大之事。其被舉之人。即衆股東。群奉其資本以委託之。他日其果能不負委託與否。實與股東最有影響者也。乃若不問出資本者之意向何如。而擅將其資本委託於他人。試問中外大小商業界。向曾有此辦法否。（未完）

中外要聞

●內閣軍機有併爲內部之說　樞府消息言日來政府王大臣會商擬俟出洋考査政治五大臣回國即將內閣軍機處歸併改爲內部政務處即改爲上議院其餘京中各衙門均擬酌量裁改云大約亦傳聞之詞耳

●顧御史三上封章　昨奉　明諭御史顧瑗者回原衙門行走聞該御史日前同時連上三摺一干涉樞廷一參粵督岑雲帥一參江督周玉帥其參岑督一摺略謂岑督近日旣已不孚民望現在該督已經告病請即　恩准飭令開缺等語政府以　朝廷用人該御史不應冒昧干預故有是　命云

●李大臣赴比接任之續聞　李大臣赴比接任外間聞此消息多以爲李大臣方與澤尙兩大臣同赴各國考査政治何以忽有赴比接任之信茲經査得李大臣日前有電來京略謂前奉　旨俟隨澤公考察畢再行赴比目官欽遵惟此間考察不過旬日澤公定十六起程應否隨同前往抑或赴比接任乞示遵云云大約已得政府復電准其赴比接任故李大臣乃遵照而行也

●前任日使之轉迭　東京特電云前駐京日本欽使內田康哉回國後已陞任外務部次官現由　日皇內定着改補駐奧西太利國欽使

●學部用人未決　學部官制已經奏定惟人才難得其間各官缺尙多懸缺待人聞嚴侍郞喬柔議近與榮尙書議及審定司員各缺事宜嚴擬請奏調東西洋留學生管理編譯等事而喬意主用耆儒名流彼此尙未定議故該司所調人才祇有日本留學生劉大猷等三人至今尙未知擢用何職云

●請俄使禁俄人在黑吉之違法舉動　俄國在江吉兩省橫恣暴行無所不爲已爲世人所共知茲聞外部日前照會俄使略謂貴國軍隊在江吉兩省强佔礦產採伐木植並收買民地頗有妨于我中國主權目下貴國撤兵未畢而戰事已熄兩國正在議約之際理應尊重主權以符公法希貴欽使轉達貴國政府趕速嚴禁此等違法舉動以全兩國邦交等語未悉俄國是否照允

●將開議大連稅關事宜　聞外部照會駐京日使略謂俄國年前租借靑泥窪時允認於開埠後俄國在該埠設關代收稅捐目下貴國亦擬開大連爲商埠希按照中日條約第二條趕速派員來京磋商設關事宜以符條約駐京日使現已照允按政務局長山座圓次郞君現已奉命啓程來華實係因此事山座君已於二十二日抵安東想日內可經奉省來京開議矣

●宣布南滿洲鐵路章程　上年日俄兩國派員在美國訂結和約俄國將長春迄南東淸鐵路讓與日本後中日兩國派員在北京磋商東三省善後中國政府承認將奉省鐵路歸中日合辦早爲世人所共知也日本政府爲推廣商務起見已於西曆六月初八日宣明南滿洲鐵路公司章程籌集股本以資早日開築茲將該章程全文譯登於左

第一條　本政府開設南滿洲鐵路股份公司令其從事南滿洲鐵路事務

第二條　凡公司股份均註明股東姓名除日淸兩國政府日淸兩國國民有權入股之外其餘一律不允入股

第三條　日本政府得將滿洲之鐵路煤產充爲股本

第四條　凡公司豫定股本總額得分數次召募股本第一次召募之股本須佔有股本總額二成以上

第五條　凡股東每次入款以股本十分之一爲限制

第六條　本公司開設總公司于東京開設分公司于大連

第七條　本公司置總裁副總裁各一名理事四名以上幹事三名以上五名以下以辦理公司事務

第八條　凡總裁代表公司統轄其事務副總裁如總裁有事故可代表其職務如公司一時無總裁則代理其事務凡副總裁理事均襄助總裁分掌公司一切事宜幹事則監督公司事務

第九條　凡總裁副總裁由日本政府奏請批准行始簡任五年期滿理事由日本政府由五十股以上之股東中簡任四年期滿幹事在股東總會東互行公舉三年期滿

第十條　凡總裁副總裁及理事應享之酬金政府妥爲酌定

第十一條　凡總裁副總裁在任內無論如何名目均不允從事他項職業商務但政府如特行允准不在此例

第十二條　政府特置管理官令其監督該公司事務凡管理官監督公司事務施設並調査其庫款簿册以及其餘商業以示愼重又管理官如認爲吃緊無論何時均得令公司據實具稟管業之實在情形又管理官得臨于股東總會及其餘總會演述意見但無投票決議之權

第十三條　政府爲監督公司事務起見得關于公司事務傳機宜之命令

第十四條　凡公司決議事件及其役員舉動如有違章情事或違犯公司之目的或有妨于公益或不實遵監督官署之命則政府得將其決議事件飭令作廢或戒飭役員以副公益

第十五條　政府如認爲緊要得以日本鐵路法律應用于該公司但政府如按照此法辦理須先將應用之章程告知公司

第十六條　本章程未盡妥善之處照商法及附屬章程辦理

第十七條　明治三十三年勅令第三百二十六號適用本公司

第十八條　政府豫先簡派設立委員令其辦理南滿洲鐵路公司之開辦事宜

第十九條　凡設立委員須先訂定公司章程稟請政府批准然後募集第一次股本

第二十條　設立委員如經此一次股本募齊須將附搭股本表册呈送政府稟請允認開設該公司

第二十一條　如政府批准開設公司即設立委員須令各股東按其股本繳第一次入款如各股東將第一次入款一律付淸即設立委員須邀集股東開總會集議開辦之法

第二十二條　上開股東總會已舉之後設立委員須將其一切經手事務交卸歸南滿洲鐵路公司總裁接辦

聞該鐵路公司係中日合辦與中國政府頗有關繫故日本政府因此問題擬與中國政府磋商辦法並該公司設立委員除簡派日本官紳之外仍擬由中國政府派代表者共同辦理云

雜報

●焚燬賊巢　昨由南來人云復州境內之山賊扼據山谿之險營穴群居統計僅十八賊乃皆奮於狙擊槍技稱能臨事一心即難捕獲聞於前數日有陳總巡之勁旅一哨進山剿賊三面兜攻連圍四日乃斃賊五名逃賊四名活擒賊九名卽時焚其巢穴幷解九賊於魚業公司黃太守處戚曰如鞫得實供不久必行正法以靖地面云

●調換鐵路巡警　河北鐵路巡警前報載登調換奉軍中營田君哨弁所部之兵隊彈壓一切昨聞河北來人所云甚悉該隊實爲綏靖營所屬管轄附近鐵路以外村鎭諸處並稽査賊匪等情該鐵路仍有巡警營兵隊衞護昨曾實來新隊調換忘該哨弁姓名其人乃田字像極其雄武紀律亦頗嚴肅衣裝俱係洋式步伍整齊先前每逢行客上下車時僅有數兵執挺照料該弁則必令其兵隊全數排列站臺以便嚴加保護云云

●成人之美　有山東李姓者因受洋烟之累無可謀生帶領妻女來營擧目無親夫妻乞食寄居五台子忽於前數日將其妻出賣與薙髮匠爲妻當有說合人言以身價洋一百元將洋交淸夫妻分離之時其妻放聲大哭不忍割捨幸有近鄰等於中說合將錢原回各歸無事夫妻叩謝盛情忽於前天又要賣妻被衆阻之有山裏之客楊姓者知其事願助洋十元以作盤費至新開河耕種謀生云云

●出口劓賊　又聞本埠口外有賊船數十隻來往魚船一及小船被賊船搶刦甚爲不便多有進口避難者軍政署聞知其情於昨特派巡勇數十帶領民船四五隻出口勦捕云云

●撞船傷人　又聞有進口小船一隻行至口外忽有一出口小船互相行走躱避不及將進口船之夥觸於水中當時幸救其一其二打撈多時杳不可得聞其人係五台子叢姓之子云

營口捐助舊金山華僑震災銀洋字號姓名列左

三江捐助列左

鎭康號　仝　十圓　　愼記號　仝　十圓
可熾順　仝　十圓　　大興文松記　仝　五圓
大興文春記　仝　五圓　　昇昌利　仝　十圓
唐晋記　仝　十圓　　大生文　仝　五圓
茂興永　仝　五圓　　同人昌　仝　五圓
得豐號　仝　五圓　　裕茂號　仝　五圓
恆記　仝　五圓　　協豐合　仝　五圓
　　丁泰來
茁生利　仝　十圓　　程春圃　仝　十圓
袁芸生　仝　十圓　　東申榮　仝　二圓
恒昌德　仝　五圓　　瑞成恒　仝　五圓
利生源　仝　二圓　　徐熙宗　仝　二圓
包光澄　仝　二圓　　何芝珍　仝　二圓
無名氏　仝　十圓　　興記號　仝　五圓
大有豐　仝　二圓
福建衆商戶助洋一百圓　　鄭漢臣　助小洋二十圓
忠駿　助小洋七十二圓七角
共二千二百二十三圓七角會上海英洋二千圓（完）

廣告

啓者敝館現在擬定推廣報務新增機器以便印刷各種册籍單張凡大而書籍廣告傳單及小而商報名片等類皆能妥實迅速定期取件並能代譯日英各文一切紙料悉從東洋自行運到各式既全價尤廉較之購本處者其價格外公道　貴官商賜顧無論何件均可訂印且不拘多寡一律定價以廣招徠務乞隨意惠臨面訂一切可也

滿洲日報帳房謹啓

營口旅館料理店案內（いろは順）

旅館料理　第一樓　營口ホテル　元神廟街九十六號（電話八四番）

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎

御料理並ニ温泉　一力　毎日新湯　營口永世街　店主　堀万助

旅館　日營ホテル　河岸通り　店主　井上源吉

料理　東京館　永世街八十六號　店主　村上京四郎

旅館　東京樓　營口新市場前（電話一八七番、四番）　店主　熊田粂次郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號正金銀行西三程

料理　千鳥　元神廟街百三十三號　店主　吉住善藏

料理　沖の島　永世街百六十四號　店主　中川彌三郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主　坪田正好

旅館　高砂ホテル　西北街（電話一四五番）　店主　片山小みつ

旅館　大和館　永世街三十四號（電話十一號）　店主　前田九一郎

御料理　梅廼家　營口二本町　田村瀧太郎

料理　萬梅　豐潤門街第百〇四號　店主　田島彌助

料理　まんなをし　永世街字二本町三百五十九号　店主　和田常松

和洋料理　公樂園　南永世街

料理　喜樂亭　營口平野町

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主　谷口今朝太郎

料理旅館　醉花園　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主　澁田留吉

さるそば　第一更科　營口元神廟街
さるそば　第二更科　永世街鶴の湯角

和洋料理　松月亭　營口元神廟街一四三号　店主　住松信太郎

料理　都樓　平野町　店主　阪本ちか

御旅館　品川館　營口永世街一六五號

奉天旅館料理屋案內

商人御定宿　瑞豐館　奉天小西關大街北側　館主　河野嘉吉（電話　號）

會席御料理　高等御旅館　天神樓　温泉付大勉强キレーヂライシヒ　奉天小西關大街北側（電話　號）

旅館料理店　日盛館　奉天小西關大街南側　館主　入江熊男（電話　號）

旅館料理店　梅松館　奉天城內灰市街東華門宮殿東側　館主　押尾富次郎（電話　號）

御料理　梅ケ枝　奉天小西門より一丁西の辻北入　館主　辻井ムメ

高等御旅館　茂林館　奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店　日章館
牛肉雞肉すき燒　日章亭　奉天小西關大什字街南へ入（電話　號）

御旅館　瀋陽館　奉天小西門外大街路北

さるそば　更科　營口支店　奉天小西門外金城館前

御定宿　第二東京館　奉天小西關第五分局八〇一〇號　館主　松田平四郎
今回大改良を加へ旅館専業にし御客様の便利を斗り内湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館料理店　新日奉館　奉天大西門際　館主　濱田アヤノ

御料理旅館　扶桑館　奉天大西關大什字街　第五分局千〇六十八号　館主　堀田ハル　電話

日本石炭新荷着
多少に係らず御用仰付られ度候
新玉倉庫　紋定門街　電話百五七

元祖　アイスクリム
山金
斯道の元祖老夫婦が多年の經驗を積みし
味を試み（アイスクリム）の由來如何を知れ
（清國營口平野町）

和洋高等御料理
遼東館
遼陽城內東街一八九號　電話　號

煉瓦販賣
上り竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ
二本町　高坂洋行煉瓦製造部（電話九十番）

硝子製造
營口青堆子街三百六十四號
菅野玻璃廠
THE OFFICE M. SUGANO'S GLASS MANUFACTORY. No. 364, St. Chingtaizu, YINGKOW.

銘酒　劍菱

遼陽停車場向ヒ　池上出張店

移轉廣告
今般西北街代々木商會隣家屋に大修築を加へ移轉仕り候間舊倍之御愛顧之程伏して願上候也
牛莊亭白

本組開設營口紋定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價値格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名擧其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸
營口青堆子紋定門外　志岐組

土木建築請負并ニ諸材料販賣板硝子便利瓦ウヰスキー麥酒類卸賣
營口青堆子紋定門外　志岐組

御料理　本店　金城館　奉天小西關新來當街々（電話十九）

御旅館　金城ホテル　奉天小西門街大什字街（電話二〇）

御披露
追々暑氣に相向ひ申候處各位倍御淸榮奉大賀候陳は今般營業擴張と同時に營口支店に於ても在來の婦人一切入れ替へ新に江戸生粋の美人數十名を呼寄せ候從つて趣向も更り千編一律の遊びにあかせられ候御方樣には一入の興味を感ぜらることと奉存候尙樓上等へも暑さに應し設備を改め候間御納涼旁あつさりと晩餐を召させらるゝにも好適と存申候御散歩の折柄是非共御試遊被下度伏て奉願上候

御料理　支店　金城館　營口永世街（電話八三）

御旅館　支店　金城ホテル　營口永世街

御料理　支店　金城館　大連市吉野町

御旅館　支店　金城館　大連市吉野町

會席料理　三日月　營口警務課前南に入る

御旅館　和洋御料理　奉天館　奉天軍政署指定旅館　奉天城內鐘樓南大街（電話十四番）

日淸俱樂部　奉天城內大南門裡大街（電話十五番）
麵麭製造　西洋洗濯　靴製造　日本大工　理髮　裁縫　氷卸小賣所

大日本政府特定
營口製紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

各種雜貨一概俱全
加藤洋行
東營口東海關後街

廣告
スペシャルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尙夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

高等麥酒スペシャルライト

六月

釀造元　大日本麥酒株式會社

滿洲一手販賣店　營口元神廟街　關東公司雜貨部（電話五番）

分店　奉天四平街電話十三號　關東洋行

滿韓境上唯一樂園
五龍背温泉
安奉鐵道安東驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
温泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絶佳今ヤ新綠滴タルノ下淸流掬スベキノ仙境タリ
當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

爲替相場（六月二十日）
日本向　百〇一圓五十錢（軍票百圓に付）
上海向　七十一兩（同）
天津向　一百三十圓六十二錢五厘（百弗に付）
芝罘向　一百〇三圓六十二錢五厘
油房市價（中華三月十九日）

日本品最近物價表　加藤洋行
紙類
一半紙　一〆　二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙　全　七圓五十錢
一仙花紙　一帖（六十枚）　六十錢
一塵紙　一〆　一圓七十錢
一狀袋　二十枚綴　三錢二厘以上四錢
一全　百枚　十三錢以上十八錢
室內裝飾品及寢具　矢野洋行
一蒲團　三枚組　六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン　十帖　五圓五十錢以上三十五圓
一暖爐　五圓五十錢以上十四圓
一疊　二圓六十錢以上三圓
一薄椽　十枚　八圓
一麻緞通　一疊敷　三圓
一綿緞通　全　三圓五十錢
一由加多織　全　一圓七十錢
一白毛布　二枚綴　八圓以上十五圓

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription　4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.
$4.80 per 6 months.

本紙定價
一枚ニ付　銀四仙
一ケ月前金　銀八十仙
半ケ年前金　銀四弗八十仙
一ケ年前金　銀九弗六十仙
廣告　二十一字詰一行一回